

第45回雲南市水道事業に関する審議会 議事録

1. と き：令和2年10月16日（金） 午後1時25分～午後3時35分

2. ところ：下熊谷交流センター 多目的ホール

3. 出席者

（審議会委員）

安部幸治 会長、白菊眞二 副会長、錦織弘秀 委員、佐藤治美 委員、高木千織 委員、
内田英夫 委員、川角 清 委員、菅原純子 委員、坂田貴和女 委員、河部智恵 委員、
藤原 正 委員

・・・（委員11名）

欠席者 藤原重信 委員（委員1名）

（事務局）

藤井 勤 副市長、細木弘志 水道局長、飯島 昭 次長兼総務課長、村重悦子 総務課企画官、
難波修二 営業課長、小田川謙一 工務課長、高橋澄人 統括主幹

・・・（事務局7名）

4. 審議日程

（1）開会

（2）挨拶

（3）審議

【第44回審議会分】

○公共下水道事業の地方公営企業法の適用による組織変更について

○雲南市水道事業について

- ・令和2年度水道事業主要事業について
- ・令和2年度雲南市水道事業会計予算の概要について
- ・令和元年度水道料金過年度分収納状況について
- ・新型コロナウイルス感染症に関する対応状況について
- ・水質検査計画と検査結果について
- ・令和元年度以降の事故の発生状況と対応について
- ・雲南市新水道ビジョン目標値及び達成状況について

○雲南市工業用水道事業について

- ・令和2年度雲南市工業用水道事業会計予算の概要について
- ・工業用水道事業の経営改善について

○雲南市分庁舎（上下水道部庁舎）整備事業について

○その他

- ・令和元年度施設見学（出前講座）について

【第45回審議会分】

○令和元年度水道事業会計決算等の状況について

- ・決算の状況について
- ・水道料金の収納状況について
- ・令和元年度末の水道事業の状況について

○令和元年度工業用水道事業会計決算等の状況について

- ・決算の状況について
 - ・令和元年度末の工業用水道事業の状況について
 - 新型コロナウイルス感染症に関する対応状況について
 - ・水道料金の減免等の対応について
 - ・水道事業の継続に向けた取り組みについて
 - 令和2年度水道事業の状況について
 - ・経営状況について
 - ・主要事業の進捗状況について
 - 令和2年度工業用水道事業の状況について
- (4) その他
- (5) 閉会

[次第]

1. 開会
2. 挨拶
 - 安部幸治 会長
 - 吉山 治 副市長

雲南市水道事業に関する審議会条例第6条第2項に基づき、委員の半数以上が出席しており会議が成立していることを報告

----- 以後、審議会条例第6条第3項に基づき、会長が議長となる -----

3. 審議

【第44回審議会分】

(1) 公共下水道事業の地方公営企業法の適用による組織変更について

事務局より説明した後、委員からの質疑を行った。

【質疑】

(委員) 組織体制の変更により下水道課が水道局に加わったわけだが、現在、下水道の審議会が開催されているのか。

(事務局) 開催されている。

(2) 雲南市水道事業について

①令和2年度水道事業主要事業について

②令和2年度雲南市水道事業会計予算の概要について

事務局より説明した後、委員からの質疑を行った。

【質疑】

(委員) 給水人口及び給水量の減少幅に対して、給水戸数の減少が3戸と少ないのはなぜか。過疎化の進行など様々な要素があると思う。戸数と水量は直接関係がないのかもしれないが、どんどん減るイメージがあるがどうか。

(事務局) 給水戸数は当初予算の見込み戸数である。元年度に見込んだ数は14,963戸だ

が、その結果、令和元年度末現在の給水戸数をもとに過去の実績や令和2年度の水道局で把握している戸数を反映させた結果、令和2年度の期首で14,965戸と見込んだ。決算時の実績、3月末の戸数はかなり増減の幅は大きくなっている。

(委員) 給水量も比例し減っていく傾向なのか。

(事務局) 給水戸数と年間予定給水量は比例していない。給水戸数は予算上では3戸しか増減していないが実際の使用量は近年下がっているため、給水量については下げ幅を見積もっているところだ。

(委員) 有収率については漏水を減らすということだと思うが、漏水調査はどのような方法で行い、調査内容をどう生かすのか。

(事務局) 有収率の変動は漏水によるところが大きい。水道局では毎日漏水について監視している。監視とは、配水池からの排水流量を監視できる装置で行う。漏水調査は使用水量の少ない夜間に行い、使用水量が多いということになると漏水が疑われる。夜間に配水流量計を確認しながらバルブ操作により漏水区間を絞込み、昼間に音聴等により漏水箇所を特定する。

(3) 雲南市工業用水道事業について

①令和2年度雲南市工業用水道事業会計予算の概要について

②工業用水道事業の経営改善について

事務局より説明した後、委員からの質疑を行った。

【質疑】

(委員) 平準化債を借入することにより、将来黒字になるとの説明であるが、他に黒字になる要素があるのか、先延べするだけなのか。

(事務局) 平準化債を借りると言ったが、現在、収益的収支、いわゆる営業だけを考えると工業用水道は黒字であり、料金で費用などを全てまかなえている。しかしながら借入金の元金返済額が大きいため、資金がなくなる原因となっている。具体的に言うと、元金の返済が減価償却費よりも多くなっており、いくら収益的収支が現金を生み出しているとしても、元金返済額が大きすぎて毎年お金が減っているという状況だ。元金返済のお金さえあればなんとか回っていける。元金の返済は段々減っていくため、それを持ちこたえることができればあとは普通の営業の状態になれば経営は安定していくので、今回借り入れをするという資金の流れになっている。

(4) 雲南市分庁舎（上下水道部庁舎）整備事業について

事務局より説明した後、委員からの質疑を行った。

【質疑】

(委員) 交付税措置のない30%分を後年度水道局が負担とするのか。

(事務局) 合併特例債借入金のうち交付税措置のない30%について15年間、水道局が負担

する。

(委員) 一般会計の事業を企業会計が負担することなのか。

(事務局) 市役所の分庁舎として建設しているため、その一部を負担する。

(委員) 有利な財源を利用し、一般会計で建設し、賃料を払うと以前説明をされが、賃料は払うのか。

(事務局) 交付税措置のない30%分が賃料にあたる。市の持出し部分について、賃料という形で水道会計が負担する。

(委員) 15年間払うということだが、16年後はどうなるのか。一般会計の建物から企業会計の建物へ移すのか。

(事務局) まだ、明確に決定されていない。今後、関係部局と協議する。

(委員) 建設費用の実負担分を払えば貸し借り関係が成り立つのか。監査等での指摘は無いのか。

(事務局) 関係部局との協議済である。

【第45回審議会分】

(1) 令和元年度水道事業会計決算等の状況について

①決算の状況について

②水道料金の収納状況について

③令和元年度末の水道事業の状況について

事務局より説明した後、委員からの質疑を行った。

【質疑】

(委員) 令和3年以降の水道料金の値上げが出てくるのではないかと思います。29年時点では良いという判断でできた案だとは思いますが、結果として令和3年以降人口減少などの要素も含め、水道料金の値上げをしなければならないということもあるかとおもうが、令和3年以降の見通し等があれば聞かせて頂きたい。

(事務局) 現在、順調に利益を計上している。前回料金設定をした期間は5年間で計画をしており、5年間は経営が安定しているということで、その先はまたその時の経営状況を見ながらということになる。料金の値上げに関わらず毎年将来の見通しを立て検証しているが、今のところ見直しの計画は無い。今後は5年とかではなく、10年、20年と長いスパンで考えていかなければならない。また審議員さんに色々な意見をいただきたいと思っている。

(委員) 一般会計から繰出す補助金の基準はあるのか。

(事務局) 当時の財政部局との協議では固定資産を維持しなければならない理由で、固定資産の残存価格に応じた額を繰入額としている。

(委員) 令和2年度の繰入額は計画より増えているのか。

(事務局) 計画より減っている。

(委員) 議会の決算認定で何か意見、指摘事項はなかったか。

(事務局) 特に意見、指摘事項はない。

(2) 令和元年度工業用水道事業会計決算等の状況について

①決算の状況について

②令和元年度末の工業用水道事業の状況について

事務局より説明した後、委員からの質疑を行った。

【質疑】

(委員) 現在の給水量は施設能力の半分以下であるが、新たな工業団地の誘致及び設備投資は当面考えられないのか。

(事務局) 上水道の場合、配水池に送りそこからそれぞれ給水という形だが、工業用水の場合はポンプ所から直接事業所へ送水する仕組みであり、新たな施設整備が必要となることから拡張は難しい。

(3) 新型コロナウイルス感染症に関する対応状況について

①水道料金の減免等の対応について

②水道事業の継続に向けた取り組みについて

事務局より説明した後、委員からの質疑を行った。

質疑なし

(4) 令和2年度水道事業の状況について

①経営状況について

②主要事業の進捗状況について

事務局より説明した後、委員からの質疑を行った。

質疑なし

(5) 令和2年度工業用水道事業の状況について

事務局より説明した後、委員からの質疑を行った。

質疑なし

----- 審議終了 -----

4. その他

5. 閉会

水道局長あいさつ